

はあとのまは

“心を綴ったノート” “心が奏でる音”

2022(3)

第67号



宝立七夕キリコ祭り(珠洲市宝立町)

病院理念

“市民の心の支えとなる、地域の中核病院に”

1. 疾病の予防から在宅医療までの一環した体制の確立を目指します。
1. 安心と信頼の地域医療を目指します。
1. いたわりの心で皆様の健康と命を守ります。

目次

- ・感染管理認定看護師 2
- ・呼気一酸化窒素濃度測定検査 3
- ・新型コロナウイルスワクチン接種 3
- ・地震に関するお見舞いの御礼 3

今月は、感染管理の教育研修を受講してきた圓堂看護師が感染管理認定看護師について紹介します。

きっかけ

新型コロナウイルス感染症の感染拡大という緊迫した状況で、医療現場は感染防止に的確な対応を迫られています。感染が拡大し始めたころ、身近なところで陽性者が報告されるかもしれないという恐怖に怯えながら、目に見えない脅威から患者さまに加え職員を守る対策を講じてきました。しかし、当院には感染管理の認定看護師はおらず、手探りの状態での対策に間違いはないのか不安に思う日々でした。

そのような中で、感染管理認定看護師を招き、当院で新型コロナウイルスの感染者が発生した場合の汚染区域と清潔区域の分けなど感染対策状況のチェックをしてもらう機会がありました。根拠に基づいた的確なアドバイスをしてくださる認定看護師は頼もしく、豊富な知識に感銘を受けました。私は、「看護師にとって感染対策の知識は必要不可欠だが難しいことが多い。患者さんの状態や場面ごとに何をしたらいいのか分からない。どんな場面でも自信をもって間違いのない判断が出来るようになりたい。知識をもって働きたい。」という思いから、研修の受講を決意しました。

認定看護師とは

特定の看護分野において、熟練した看護技術と知識を有する者として、日本看護協会の認定を受けた看護師をいいます。認定看護師の役割は、①高い臨床推論力と病態判断力に基づき、熟練した看護技術や知識を用いて水準の高い看護を実践する（実践）②看護実践を通して看護職に対し指導を行う（指導）③看護職などに対しコンサルテーションを行う（相談）の3つです。

感染管理のためには

感染管理認定看護師の役割は、疫学、微生物学、感染症学、消毒と滅菌、関係法規などに関する専門的知識を基盤に、施設の状況に合った効果的な感染管理プログラムを構築し、病院に関わるすべての人を感染から守ることにあります。

あらゆる職種と協力し啓発活動や職員教育、感染症・環境汚染などの発生状況について調査・監視することで感染の早期発見、予防に努めなければなりません。そのため、客観的な指標となる数字の提示やガイドラインに沿った提案が求められます。また、施設の状況を把握し、組織的な感染対策を立案・運用・実践する能力が必要になります。組織的な対策を実現するためには、多職種協働の考え方とリンクナースの存在が重要になってきます。

研修内容		
・ 共通科目	医療安全学など	120 時間
・ 専門基礎科目	感染管理学など	120 時間
・ 専門科目	感染防止技術など	120 時間
	学内演習／臨地実習	270 時間
・ 筆記試験	20 科目	
・ 修了試験		



多職種協働

医療や介護の現場では一人の患者さまに対し、多くの職種が関わります。たとえば医師、看護師、理学療法士などの医療従事者、ケアマネジャーなどの介護従事者、さまざまな立場の視点を生かし、意見交換をしながら一人の患者さまに対するよりよいケアを追求するのが「多職種協働」です。

感染管理では、多職種で構成するチームを作ります。認定看護師は、その方々と協力してシステムづくりをすることがメインとなります。病院全体に関わることなので、単に「こうすれば良い」と提案するだけでなく、根拠を示し実行に移すために、はたらきかけなければなりません。

リンクナース

リンクナースは、医療機関の中にある専門チームと看護師をつなぐ役割をしています。専門チームから感染管理や褥瘡対策、最新医療知識、栄養管理などの情報を学び、看護師に周知していきます。

感染管理は、組織的な活動が必要になるため、病棟や外来などあらゆる所属の職員と情報を共有する必要があります。そのため、組織を横断的に活動しているリンクナースの存在が重要になります。



これからは、新型コロナウイルスの拡大により地域社会に貢献することが求められます。看護師への指導だけでなく、地域に向けた啓蒙活動を実施することで、地域住民が安心した社会生活を送られるように支援していきたいです。



当院では「呼気一酸化窒素（NO）濃度測定装置」を導入しました！
呼気一酸化窒素（NO）濃度測定検査とは

吐いた息（呼気）のNOの濃度を測定することで喘息の診断と治療の効果判定を行う検査です。

喘息患者さまの気道には炎症があり、その炎症性刺激により多量のNOが産生されます。炎症のレベルに応じてNO濃度が増加することで喘息の診断が出来ます。また、値の増減により、吸入ステロイド薬の効果の評価ができるので、薬の用量の調節にも用いられます。

さらにNOは、他のバイオマーカーに比べ、喘息で特異的に上昇するため、慢性閉塞性肺疾患（COPD）との区別が容易になります。



バイオマーカーとは

疾患の有無、病状の変化や治療の効果の指標となる項目・体内の物質を指します。

主に血圧、心拍数や心電図、血液中に測定されるタンパク質等です。

検査時間は約1分30秒

検査方法は、10秒程息を吐き込むだけです。結果も1分程で分かります。呼気の強さはアニメーションで表示され、ゲーム感覚で検査できます。また、息を吸ったり吐いたりするだけなので、負担が少なく、ご高齢の方やお子様でも繰り返し検査できます。

喘息改善の鍵は早期発見

喘息は初期段階で治療介入することで、炎症を抑制でき、症状の悪化を防ぐことが出来ます。風邪の後、2週間たっても咳が続く場合は喘息の初期段階の可能性がありえます。お気軽に当院を受診してください。

検査方法



新型コロナウイルスワクチン接種

4回目の接種が始まっています。

対象は3回目を接種してから5か月が経過した方のうち

- (1) 60歳以上の方
- (2) 18歳以上60歳未満で基礎疾患を有する方、
 その他重症化リスクが高いと医師が認める方

接種は8月中に終わる予定です。

接種される方は接種券に書かれている日程を今一度ご確認ください。

地震に関するお見舞いの御礼

この度、6月19日及び20日に発生しました珠洲市を震源地とする地震に際しまして、ご厚情あられるお見舞いと励ましのおことばを頂戴しましたこと、心よりお礼申し上げます。

寄附

日本海綿業株式会社 3万円
 株式会社石川コンピュータ・センター
 ディスプレイ 10台

外来診療日程表

午前 受付時間 8:00~11:30 診療時間 9:00~12:30

診療科	月	火	水	木	金	
内科	1診	波佐谷	北口	波佐谷	加治	波佐谷
	2診	北口	吉田	小浦	北口	小浦
	3診	リウマチ/膠原病 (隔週)★	出島	小泉★	小浦	吉田
	5診	—	—	加治 (膠原病)★	—	—
健診室	小浦★	浜田★	波佐谷★	坂本★		
外科	坂本 藤本	藤井	坂本 藤本	藤本	藤井 呼吸器	
	三村		和田		三村	
小児科	三村		和田	三村		
耳鼻咽喉科	榊田	金大医師	榊田			
整形外科	青木・石野					
産婦人科	—	—	助産師外来 産後2週間健診	—	—	
脳神経外科	浜田	金大医師		浜田		
泌尿器科	毎週 (交替で診察)	※月曜日が休日の場合は、次開院日に変更。			毎週 (交替で診察)	
皮膚科	藤井	—	永岡	—	谷内	
精神科	—	西村	—	姥浦	西村	

★は予約のみ 緊急患者は、表示時間に関係なく診療いたします。

午後 受付時間 12:00~16:00 診療時間 14:00~17:00 ※午後初診の方は、できるだけ15:00までに受付をお済ませください。

診療科	月	火	水	木	金	
内科	1診	吉田	石崎 (呼吸器)	循環器★	吉田	北口
	2診	—	小浦	北口	—	—
	3診	—	小泉★	加治 (腎不全)★	—	—
小児科	予防接種	慢性疾患	健診	—	予防接種	
耳鼻咽喉科	—	—	榊田	—	—	
眼科	—	—	—	馬渡	馬渡	
産婦人科	—	—	青山 13:00~ 産後1カ月健診	—	—	
禁煙外来 (耳鼻咽喉科)	—	—	—	榊田★	—	

小児科 (以下は要予約)

- (月) 予防接種 14:30~
- (火) 慢性疾患 14:00~
- (水) 健康診断 13:30~
- (金) 予防接種 14:30~

産婦人科 (以下は要予約)

- (水) 助産師外来
産後2週間健診
産後1ヶ月健診

眼科診療日程 2022年8月~10月

診療日 隔週木曜日、毎週金曜日
受付 12:00~16:00
診療時間 14:30~17:00
※木曜日は下記のとおり診療いたします。
8月4日、8月18日、9月1日、9月15日
9月29日、10月6日、10月20日

院内助産・助産師外来に関するお問い合わせ・産前産後の困りごとのご相談

受付時間 月~金 9:00~17:00 TEL0768-82-1181 (代表)

上記以外の時間帯 TEL090-8268-1160 助産師外来 助産師まで

編集後記

コロナの感染拡大が止まりませんね。マスクや手洗い、人混みはできるだけ避けるなど、私たちにできる事をもう少し頑張るしかありません。毎日、暑い日が続いています。日焼け予防、熱中症対策気をつける事が沢山ですが、お健やかに過ごして下さいませ。 広報委員会

